

三二龍勢ロケット作りを楽しむ参加者

藤枝市茶町の市生涯学習センター



龍勢飛ぶ仕組み学ぶ

藤枝児童がロケット製作

藤枝市教委は8日、田和三教授と大学生ら2年に1度行われる県指定無形民俗文化財「朝比奈大龍勢」(15日開催)を前に、「ミニ龍勢ロケットづくり教室」を同市茶町の市生涯学習センターで開いた。小学4～6年生約30人が参加。工学の視点から龍勢とロケットを比較し、飛ぶ仕組みなどを学んだ。

藤枝市教委は8日、田和三教授と大学生らが務めた。トイレットペーパーの芯を加工してパラシユートなどを詰めてロケットの先端部分を完成させた。屋外の打ち上げ台にセットして全員でカウントダウンした後、発射スイッチを押した。約20層の高さまで飛んだロケットに歓声が湧いた。

科学に興味を持つ子どもの裾野を広げる科学教育事業の一環。講師は静岡理工科大の増